

「健康経営優良法人 2024 ホワイト 500」に 8 年連続で認定

JT は、2024 年 3 月 11 日、経済産業省と日本健康会議が共同で実施する「健康経営優良法人 2024（大規模法人部門、以下「ホワイト 500」）」に認定されました。本制度が開始された 2017 年から 8 年連続の認定となります。

「ホワイト 500」とは、従業員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に取り組んでいる大規模法人の中で、健康経営度調査結果の上位 500 法人を認定する制度です。

これまで当社では、従業員の健康増進が企業の持続的成長に不可欠な要素であるとの認識のもと、従業員一人ひとりが心身ともに健康で、高いパフォーマンスを継続的に発揮できる環境整備に積極的に取り組んできました。

2023 年も引き続き、充実した健康支援体制のもと、心身の健康増進に向けて、多様性に根差した健康支援の取り組みを行ってきました。

このたびの認定は、これら「健康経営」の取り組みが評価されたものと考えています。

今後も当社では、従業員の健康増進を重要な経営課題のひとつと位置づけて、積極的に取り組んでまいります。

**<JT の「健康経営」に関する主な取り組み>****■ 充実した健康支援体制**

- ・ 経営トップによる「健康経営宣言」のもと、People & Culture 担当役員を健康経営推進責任者とした従業員の健康支援体制等を構築
 - 本社内に健康支援を推進する専門部署を設置するとともに、全国 11 カ所のエリアに産業保健スタッフ（医師 11 名、保健師 34 名）を配置
 - 身体の健康/心の健康/ワークエンゲイジメント/プレゼンティーイズム/アブセンティーイズムの 5 つを主要な観点としたモニタリング指標を設定し、従業員の健康増進に向けた取り組みについて、それぞれの施策で PDCA による継続的な改善を実施

■ 多様な働き方を支える諸制度

- ・ 誰もが自分らしくいきいきと働けるための諸制度の充実
 - コアタイムなしフレックスタイム制度やテレワーク制度
 - 通算 20 週までの育児休職について有給休暇相当の一時金を付与
 - 子育てや介護にかかわる休暇や費用補助 等

■ 心身の健康増進に向けた取り組み

- ・ 個々人の生活環境や価値観に基づき、自分に合った自分らしい健康づくりができるよう、多様性に根差した健康支援を推進
 - 全従業員を対象に健康診断結果や個々人の生活習慣に関するアドバイス、地域特性等も踏まえた啓発イベントを事業所ごとに定期的で開催する等、きめ細かい健康支援を実施
 - 従業員が楽しみながら体験できる「JT 健康づくりプログラム」（運動、食事、睡眠等、約 60 種類のプログラムを用意）の中から、各職場のニーズや課題感に応じたメニューを実施
 - 「健康支援費用補助」制度を導入し、従業員やその家族の健康状態に応じて、自ら選択した検査や予防接種等の費用に対し一定金額の補助を実施
 - 健康ポータルサイト「Pep Up」を活用し、運動習慣のきっかけ作りと職場の活性化、そして社会貢献活動を兼ねた「ウォーキングラリー」を年 2 回開催。2023 年は全国延べ 6,099 人の従業員が、個人・チームで参加。最終的には途上国の子どもたちへ 2,064,280 円を寄付。あわせて、他の健康イベントと連動させる中で目標達成者を表彰する「Pep Up」アクティブユーザー施策を実施



「JT 健康づくりプログラム」として
約 60 種類のプログラムを用意

※ 詳しくは当社ウェブサイトをご覧ください。

https://www.jti.co.jp/sustainability/people/health_safety/index.html